

日々の田高（電気通信大学高大連携基礎プログラミング）

今年度、国立大学法人電気通信大学が実施する「高大連携基礎プログラミング」に3名の生徒が参加し、3人全員が、所定の課程を修了することができました。修了書を受け取った3名の生徒は、安堵と達成感に満ちた表情を見せていました。互いの努力を称え合いながら笑顔で修了書を手にする様子は、本プログラムでの充実した学びを象徴する場面となりました。

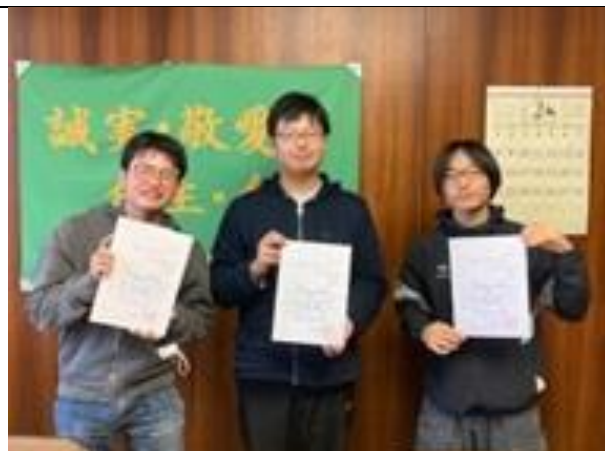
本プログラムは、「大学授業科目先取り学修」制度の一環として実施されているもので、大学1年次の情報基礎科目に準ずる水準のプログラミングを学ぶことができます。初めは高度な内容に戸惑う様子も見られましたが、分からない点をそのままにせず、質問を重ねながら理解を深めようとする姿勢が印象的でした。課題では、思うように動かないプログラムと何度も向き合い、エラーの原因を一つ一つ確認しながら改善を重ねていきました。発表の場では、自ら工夫した点や苦労した点を堂々と説明し、質疑にも真摯に応答する姿が見られました。思考を重ね、試行錯誤を繰り返す中で、論理的思考力や課題解決力を大きく伸ばす貴重な経験となりました。

今回の挑戦をやり遂げた3名の生徒の努力と姿勢は、本校にとっても誇らしいものです。この経験で培った粘り強さと探究心を、これからの学びや将来の進路にぜひ生かしてほしいと思います。

本プログラムの実施にあたり、ご支援くださいました大学関係者の皆様に心より感謝申し上げます。本校では今後も高大連携の取組を通して、生徒一人一人の興味・関心に応じた学びを支援し、その可能性をさらに広げてまいります。



スクーリング授業の様子



修了書を受け取る生徒たち